

【保護者の皆様へ】

保育園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発生や、流行をできるだけ防ぐことで子ども達が一日快適に生活できるよう、下記の感染症についてはかかりつけの医師の診断と指示に従い、『登園届』の提出をお願い致します。なお、保育園での集団生活に適應できる状態まで回復してから登園するようご配慮ください。（食事の形態の変更や散歩の不参加のご希望にはお応えできませんのでご了承ください。）

登 園 届 （保護者記入）

オハナ鶴見保育園園長 あて

児童氏名

診断名

平成 年 月 日に医療機関名【 】において

上記の感染症と診断されました。担当医より集団生活に支障がないと判断されましたので登園します。

平成 年 月 日

保護者名

【医師の診断に基づく「登園届」が必要な感染症一覧】

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発生した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑（リンゴ病）	発疹出現前1週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎（ノロ、ロタ、アデノウイルス等）	症状のある間と、症状消失後1週間（量は減少していくが数週間ウイルスを排出しているので注意が必要）	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間（便の中に1ヶ月程度ウイルスを排泄しているので注意が必要）	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	水疱を形成している間	すべての発疹が痂皮化（かさぶた）してから
突発性発疹		解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと